

2026年2月25日

埼玉県のカarbonニュートラル実現に向けた 温室効果ガス排出量算定ツール「C-Turtle[®] FE」導入について ～投融資先の排出量算定を高度化～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）は、2026年2月、株式会社NTTデータ（代表取締役社長 鈴木 正範）および株式会社NTT DXパートナー（代表取締役社長 阿部 隆）が提供する、投融資先の温室効果ガス排出量算定ツール「C-Turtle[®] FE」を導入いたしましたので、お知らせします。

当行ではかねてより、埼玉県のカarbonニュートラル実現に向け、当行グループ全体の温室効果ガス排出量削減に取り組むとともに、お取引先企業の脱炭素経営を後押しするべく、各種コンサルティングサービスや支援ツール提供にも努めております。

今般の「C-Turtle[®] FE」導入は、こうした取組みに連なるもので、国内の数多くの金融機関で採用されている本ツールを通じ、投融資先の温室効果ガス排出量について国際基準に準拠したより正確かつ信頼性の高い算定を行ってまいります。

当行では、「C-Turtle[®] FE」による温室効果ガス排出量算定に基づき、お取引先1社1社に対する支援の更なる充実を図るとともに、ステークホルダーの皆さまへの開示充実を目指してまいります。

《「C-Turtle[®] FE」の特長》

- ・国際基準「PCAFスタンダード」^{注1}に準拠し、業種（セクター）別、投融資先別の排出量が可視化できます。
- ・大企業から小規模企業まで幅広い企業の温室効果ガス排出量情報を保有しており、データクオリティ^{注2}の高い算定が可能です。
- ・算定した排出量情報に基づき、お取引先企業1社1社の脱炭素の取組みについて、よりきめ細かな支援に繋げることができます。

（詳しくは<https://www.nttdata.com/jp/ja/lineup/c-turtle/>をご参照ください）

注1 金融機関における投融資ポートフォリオの温室効果ガス排出量を計測・開示する方法を開発する国際的イニシアティブ（PCAFはPartnership for Carbon Accounting Financialsの略となります）

注2 PCAFが定める、温室効果ガス排出量算定データの品質のことをいいます

以上

報道機関からのお問い合わせ先
総合企画部 サステナビリティ推進室 笠井 勇哉
048-641-6111（代表）